

先輩社員に聞く電気工事の魅力

若手の成長していく姿が1番の楽しみです！

安松祐介

西山電気株式会社

2006年3月卒業 同年4月入社

出身校 明星大学・理工学部電気電子工学系



就職活動当初から電気工事会社で現場代理人の仕事をしたいと考えていましたので、そのことを念頭に会社を探しました。何社かの面接を終え、1番最初に内定の連絡をもらったのが西山電気でした。

その際に思い出したことは、さまざまな施設の工事実績があるということです。まさに私が理想と考えていた会社だったので、これも何かの縁だと思ってお世話になることに決めました（笑）。

今年の4月で入社11年目になりました。4年前からは後輩を指導する立場です。指導する際に意識していることは、できるだけ相手の性格や能力に合わせた対応をす



る、ということです。本人が持っている能力をどのようにすれば引き出せるかを日頃から考えています。

失敗できるのは若手の特権だと、よく若手に言います。職人さんも経験年数が浅い人間に高度なことは求めません。

自分も若手時代は失敗を経験しましたが、その経験が今の仕事に結び付いていると確信していますので、積極的に失敗して成長に繋げて欲しいと思います。

若手が成長していく姿を見ていると、このように嬉しくなります。現場管理業務とはまた違った、やり甲斐を感じています。